



森のなかま

2020年 2月号

NO. 142 (継続287号)

NPO法人かながわ森林インストラクターの会 <http://www.forest-kanagawa.jp> 発行人 久保 重明
〒243-0018 厚木市中町2丁目13番14号・サンシャインビル6階604号 TEL046-297-0301・Fax046-297-0302

<自然観察部会>

第95回森林探訪

「早川・片浦（一夜城） ～蜜柑畑と歴史の石垣山一夜城より相模湾を望む～」

日時：2019年11月30日（土）9:50～15:30 晴れ

参加者 42名

コース：早川駅-小田原漁港-海蔵寺-石垣山一夜城-石橋水源-佐奈田霊社-石橋山古戦場-早川駅（解散）

看護師 青木様

インストラクター：CL 小貝⑭、L 西岡⑭、L 牧石⑭、赤崎⑫、内野⑨、小笠原⑩、河西⑮

<記 西岡 一郎⑭ 写真撮影 小貝 眞⑭ 西岡 一郎⑭>

今回の森林探訪は、小田原市の西部のみかん畑の脇の農道を中心としたコースで、豊臣秀吉の小田原攻めの際の一夜城や、源頼朝が拳兵後大敗した石橋山など、歴史の舞台となったところをつないで歩きました。快晴の中、丹沢・大磯丘陵などの山や、相模湾、三浦半島、房総半島、真鶴半島の三ツ石、伊豆大島などの海の遠景がよく見えました。また、最初に小田原漁港（早川漁港）を訪れることから始め、後半には定置網を眺めることが出来ました。

一夜城への上り道の脇をはじめとしてコースのいたるところで、アオツツラフジ、エビヅル、カラスウリ、クズ、カナムグラ、カラスウリ、キヅタ、コセンダングサ、サルトリイバラ、スズメウリ、センニンソウ、タンキリマメ、ツルウメモドキ、ノササゲ、ノブドウ、ヒヨドリジョウゴ、マルバアメリカアサガオ、ヤブマメなどと、多くのつる植物がいたるところで見られました。つる植物は、丈夫な幹や茎をもつことを捨て、エネルギーの多くを上へ伸び葉を広げることに使い、早く高く成長することを選択した植物で、そのしたたかで力強い生き方を味わっていただきました。また、晩秋であり、ヒヨドリジョウゴ、カラスウリなど赤い実をつけたもの、アオツツラフジ、エビヅルなどの青や黒い実や、ノブドウなどがカラフルな実をつけており、子孫を残すためのけなげな努力も見えていただきました。

柑橘類がコースに多くあり、道端でミカンを売っている農家の人もいました。早生みかんから、大津みかんなどのそのあとに出てくるみかんに代わる時期でした。ミカン栽培が高齢化等で減ってきているそうで、ミカン畑からオリーブやシキミに転換しているところもありました。

いつもの森林探訪と異なりほぼ車道を歩くコースでした。天気に恵まれ、海や山の遠景もよく見ることができ、暖かな晩秋の一日を堪能していただけたと思います。



海蔵寺のバクチノキ(ビランジュ)



一夜城への上り道から
小田原市内、大磯丘陵を望む



ヒヨドリジョウゴ

<森林部会>

除伐研修会

日時：2019 年 12 月 14 日（土）9:30～14:00 晴れ

場所：伊勢原 三ノ宮 ひじりの森 里山整備活動エリア

講師 小野 幸広⑤ 大橋 聡⑪ スタッフ 松永 廣⑪ 竹内 明彦⑮ 岩田 典義⑭

研修生：10 名

研修の目的 除伐作業の習熟とインストラクターとして指導する際の基本的技術の確認

教材 「除伐・つる切り作業マニュアル Ver. 1」「安全チェックシート／間伐」

「倍力システムを使った人力牽引」（松永廣スペシャルコーチ著）

「ナタの構造と種類・使い方・メンテナンス」

使用道具 ナタ 滑車 ブルージックはじめロープ各種

<記 谷 雅典⑭ 写真撮影 竹内 明彦⑮ 岩田 典義⑭>

最低気温 2℃。朝の寒暖が交互に繰り返す、「温かい冬」の寒い朝、集合までの電車中には傘を持っている方が見掛けられ、未明に降雨があったようだ。ひじりの森のモミジの落葉の陰にはヒルが隠れているような湿度が残っていた。快晴の昼（ヒル）には温度も上がりヒルに襲われるか（笑）。結局、ブヨに襲われた参加者はいたがヒルの被害はなかった。

研修は、各カリキュラムがメリハリよくスピーディーに進められ、充実した実践が行われた。いつもどこでも<安全第一>だが、此处は急傾斜地でもあり、足元の確保と同僚との位置取り（上下作業はタブー・作業間隔を取る）を確認した。<研修項目>は、まず 除伐（径 8 cm 以下狙い）；アラカシ・ヒサカキ・アオキ。残す樹種はモミジ・コナラ・クヌギ。落葉も進んでおり見晴らしが効くようになり、モミジの黄葉は太陽の光を透かして黄金色に輝いた。ナタを使って枝払い、ナタを使った杭づくり。各種ロープを組み合わせた人力牽引は、2 倍～3 倍～4 倍 と人力で、巨木が見る見る急斜面を這い上がっていく。そして、あらかじめ造った杭が活躍して、切り株との間に巨木な“土留め”ベンチの完成だ。最高気温 16℃。15℃を超え、ヒルの登場か？と思いきや、全員怪我もなく、吸い付いたヒルもなく、森林部会親睦会の会場を確認しつつ、帰途についた。ガサガサとモミジの落葉を弄（もてあそ）びながらの降坂と黄葉と紅葉を愉しんだ。地元のミカンを味わい、シイタケをお裾分け。森の恵みは、ありがたい。拝



杭づくり



倍力装置実演



倍力装置

参加者 滝澤⑤ 宇田川⑬ 星野⑬ 谷⑭ 牧石⑭ 水野⑭ 石垣⑮ 飛田⑮ 妙泉⑮ 久次米⑯

森のめぐみ シリーズ

枠組は桜の小枝です

植物の色のもとになる化合物で植物に広く分布しているものにフラボノイドという化合物のグループがあります。フラボノイドは植物の花、果実、茎、幹部、葉、根、種子、いわば植物のいたるところに多かれ少なかれ含まれている化合物です。

フラボノイドの名は、フラボノイドの代表的な化合物であるフラボンに由来しています。フラボンがギリシャ語の黄色を意味する flavus に由来するようにフラボノイドは色素のもとになり、黄色のほかにも赤、青、紫色などの花や果実の色を作り出すアントシアニンという色素成分にもなっています。木材の黄色がかかった色はフラボノイドによることが多く、また、ハツカダイコンや赤キャベツの赤色、紫シソの紫の色など、植物にはカラフルな色が存在しますが、その多くはフラボノイドの一種のアントシアンという化合物によるものです。夏にさわやかな緑ですがすがしさを提供していたモミジやカエデも秋の深まりと共に紅色に紅葉し、目を楽しませてくれますが、この紅葉も実はアントシアンが関わっているのです。アントシアンについては後ほど改めてご紹介しましょう。

タンニンの一種カテキンや縮合型タンニンもフラボノイドの一つと言えます。このようにフラボノイドは自然界に意外に多く存在しているのです。

フラボノイドは基本的には2個のベンゼン環(C_6)が3個の炭素(C_3)で結ばれている構造をしている化合物を指しています。すなわちフラボノイドは $C_6-C_3-C_6$ 骨格を有する化合物の総称です。結合の様式や二重結合の有無、水酸基の有無などでさらに図1に示すようにフラボン、イソフラボン、フラボノール、フラバノン、フラバノールなどの骨格に分類されます。ベンゼン環に水酸基やメキシル基を有するものが多く、水酸基には糖が結合した配糖体の形のものも多く存在します。ベンゼン環に水酸基が複数個結合した化合物はポリフェノールとも呼ばれますが、フラボノイドはポリフェノールの代表的な化合物です。フラボノイドは樹木の辺材部には配糖体として存在することが多

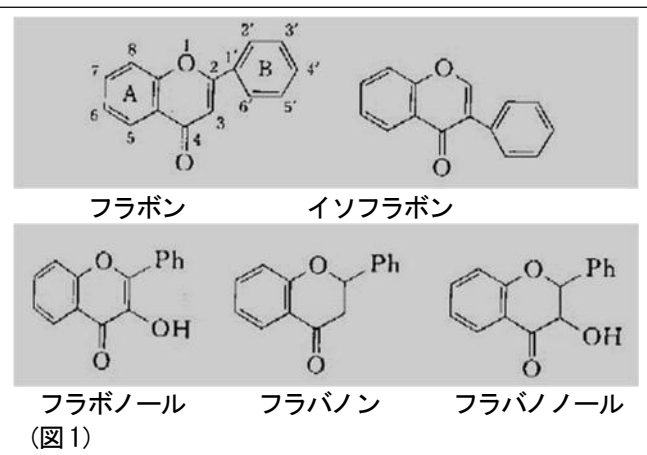
第33回 植物の色のもとになる フラボノイド、その構造は

東京大学名誉教授 谷田貝 光克 氏

いのに対して心材部分では糖がはずれたアグリコンとして分布しています。

植物の成分には植物に共通して存在し、生命を維持するのに必要な代謝産物、炭水化物、アミノ酸、多糖類などがあります。これを一次代謝産物と言います。これに対してどの植物にも含まれているという一般的なものではなく、特定の植物にだけ含まれているものがあります。そのようなものを二次代謝産物と言います。その一つに抽出成分があります。抽出成分はその名前が表しているように溶媒などで抽出されてくる成分です。植物の骨格をつくっているセルロース、ヘミセルロース、リグニンの分子量が数万以上のが高分子成分であるのに対して抽出成分は分子量が高々1000程度の低分子ですので溶媒で抽出されてくるのです。そして抽出成分には植物の色や香りのもとになる成分や害虫やカビ・病原菌などに対する抵抗成分などがあります。抽出成分には、テルペン、アルカロイド、フェノール類などがあります。フラボノイドも二次代謝産物の一つ、そして抽出成分の一つです。植物の種類によって色が異なり、かおりが異なるのはこの抽出成分によるものなのです。そういう意味からもフラボノイドを含む抽出成分は植物の化学的個性性を発揮するもの、その植物を特徴付けるものと言えるでしょう。

フラボノイドは花や果実の色素のもとであるだけでなく、ホルモンの作用、抗菌作用、抗酸化作用などの生理活性を有し、また、薬用成分としての働きをするなど、多様な生理活性を有しています。



<森林部会>

親睦会

日時：2020年1月5日（日） 晴

場所：伊勢原市 三ノ宮 ひじりの森 里山整備活動エリア

森林部会は、インストラクターのスキルアップを目的とした活動、森林・里山整備を行っています。
今回は、新年の活動初めの集いとして親睦会、短時間の除伐作業を実施しました。

〈記 石垣 桃栄⑮ 撮影撮影 鈴木 淳 ⑭ 石垣 桃栄 ⑮〉

新たな年、清らかな冷気にくっきりと姿を描く富士山を背景に伊勢原駅に集合した総勢 24 名。登山客でスシ詰め状態のバスを降り、山道を 10 分ほど登り現場に到着。オリエンテーション・岩田部会長の挨拶・佐藤氏による今年 7 年目に入るひじりの森フィールドでの活動説明の後、準備体操に入ります。14 期鈴木氏指導により皆が手足を動かしますが、参加者全員が初めて体験する珍ダンス?! ならぬ 活動前に動かすべき筋肉に重点を置いた体操に、アチコチから笑いや戸惑いの声があがりながらも和気あいあい！体も気持ちも準備オッケーとなりました。

今回 4 名の 16 期生が初参加とあり、各リーダーより登山道に接した境界や全体を俯瞰しながらの説明の後、3 班に分かれての作業開始です。経路造りにも利用できる直径約 8 センチ以下の除伐ですが、斜面での作業と足元の土が柔らかいため滑りやすく、苦心した場面もありました。汗をかきながらの作業の後、11 時半には切り上げ集合場所へ。

さあ、親睦会の始まりです！調理担当の方々の力作。収穫したての肉厚椎茸入り・貝たくさんの特製豚汁鍋が 4 つ並び、良い匂いが立ち昇っています。皆さんお椀を片手に行列し、差し入れの品々にも手がのび 4 杯おかわり！のツワモノも登場。

森の看板（いや爛番?!）おじさん！と称する小野氏がお酒を勧めて回り、ポカポカと暖かな陽射しの下、皆さんの気持ちが和んだところで、全員の自己紹介と意見交換の場となりました。まずは、新会員の 16 期生「人生で一番美味しい豚汁でした！」に始まる 4 名の森林活動に対する素直な感想や抱負に笑いや頷きの後、各期の皆さんへと移り、大先輩の「頭で覚えるより体で覚えて動けるようになるのが一番」との発言でしめくくられました。

私達が教えていただいた講師の方々にはさらに上の諸先輩方が講師となっていた事を知り、受け継がれていく知識や技術に、改めてこの会の歴史と経験の深さを感じました。

歓談の後皆の気持ちを揃え、今年の安全とさらなる成長を祈念しての三本締めにて、身も心も温まる一日となりました。

参加者： 佐藤⑤、相馬⑤、滝沢⑤、小野⑦、内野⑨、大澤⑩、松山⑩、真貝⑪、湯浅⑪、
宇田川⑬、北村⑬、斎藤⑬、水上⑬、岩田⑭、鈴木⑭、西岡⑭、牧石⑭、石垣⑮、
大見⑮、河西⑮、大友⑯、久慈（真）⑯、田村⑯、原田⑯。



除伐作業



親睦会準備



参加者 16 期の皆様

活動短信

今回の掲載は R1 年 10 月 31 日～11 月 23 日分です。
寄稿頂いた中には、紙面都合や寄稿タイミングで次号以降の掲載になるものもあります。

2 月 (如月) (旧暦一月 睦月) の二十四節気

立春 2/4 頃

ご存知、旧暦では、一年の始まりです

雨水 2/19 頃

雪から雨に代わるころ
今年はちょっと異常ですが

活動短信への投稿概略フォーマットと略語の説明
ページレイアウトは気にせずベタ書きで結構です。
(できれば Word、メール直筆でも OK。Excel はできるだけ避けてください。改行等の処理に手間を要しますので写真もあれば 1 枚添付ください。)

◆ 活動団体・活動名 等

日 日付(できれば時間と天気も)
場 場所 (例:相模原市緑区 長竹承継分収林)
参 参加者 人数
県 神奈川県 環境農政局 緑政部
水源環境保全課 水源の森林推進グループ
財(公財)かながわトラストみどり財団、看 看護師
スタッフ 例 小田原市森林組合 XX 様
例 川崎市公園緑地協会・XX 様

イ インストラクター (○数字:期) 研 研修枠
以下の本文を概ね 400 字前後を目安として執筆ください
リーダーは責任を持って執筆者の選択と執筆後のチェックをお願いします。(執筆者もお忘れなく!!)

活動終了後の速やかな投稿をお願いいたします

◆ 綱島東小学校 愛川宿泊体験学習

日 令和元年 10 月 31 日(木)
場 愛川町中津川河原と川岸
参 大人 8 名、子ども 125 名
イ L 足立④、井出①、高橋③、柏倉④、堀江④、内野④
松本洋⑧、松本保⑪、西出⑫、星野⑬、牧石⑭、石垣⑮

この学校からはここ数年毎年、愛川町のレインボープラザ近くの中津川の屈曲地点付近で、5 年生の学習单元『流れる水の働き』に即した実験授業と観察指導の依頼があり、我々としては森林インストラクターとしての力を発揮できる良い機会であるので、普及啓発部会が協力して積極的に対応してきている。

今年も例年通りでとの依頼があったので、10 月 11 日(金)と 15 日(火)に下見を行い、準備を整えていた。しかし当日現場で川の状況を確認してみると、先日の台風による大雨の影響などにより、増水して流れが速く茶色く濁り、流れ方も通常と異なってカーブの外側ではなく中央付近が一番早く流れ、外側では一部ゆるく逆流するなど、複雑な流れとなっていた。そこで、釣り竿とペットボトルによる流速の測定実

験は一応行ったが、この日の流れ方は増水時の一時的なもので、通常はカーブの外側で速く内側で遅く流れると補足説明をし、石の大きさによる流され方の違いの実験も方法の説明だけにとどめ、安全のため児童たちは一切川に入らせないことにした。

そのほかの川の流れ方による地形のでき方や設置されている設備の観察は、ほぼ例年通り行った。川に入るのを楽しみに準備してきていた児童達にはちょっと残念な結果となったが、それでも水際でサワガニやヘビトンボなどが見つけられたのは、救いとなり幸いであった。

(記 足立 功④)

◆ 相模原市立湘南小学校

環境・エネルギー学校派遣事業～かながわ環境教室～

「水の中の生き物ウォッチング」

日 令和元年 11 月 5 日(火)13:05～15:15 晴れ
場 相模原市緑区小倉 1573 湘南小学校
参 1～6 年生 23 名および各学年担任教師
イ L 井出①、高橋③、足立④、星野⑬

(目的) 校内の池やプールには、普段目にするこ
とのない水生生物が生息している。これら水生生物を探し観察することで、水の中の生物の存在と多様性を気付かせ、生き物のつながり、環境とのかかわりを学ぶ。

1. <水生生物の採取>: プール⇒タモ網を使い水生生物を採取、プランクトンネットでプランクトンを採取。池⇒手持ち網で水生生物を採取。それぞれ採取した生物は、バケツに入れて教室に持ち帰る。
2. <教室での抽出>: バケツから白バットに移し、採取した生物を抽出。各種ヤゴやガムシ、ユスリカの幼虫など多様な生物を見つけることが出来た。
3. <スケッチと同定>: 観察眼を育成し興味を引きだすことを目的にスケッチを実施し、インストラクターの指導による同定を行った。
4. <解説>: プランクトンから始まる生き物のつながりについて解説を行った。多く見つかるヤゴでは動画を多く取り入れ、ヤゴの興味深い生態の解説を行った。

1 年生～6 年生の全学年が対象ということで、レベル合わせに苦労したが、生物採取や、動画での解説を交えることで、学年を問わず興味・関心を持てたのではないかと思います。(記 井出 恒夫 ①)

かながわしずくちゃん Facebook は下記URLで見ることができます。



<https://www.facebook.com/kanagawa.sizuku>

◆ 横浜市立不動丸小学校 間伐体験

日 令和元年 11 月 7 日 (木) 9:15～13:30 晴れ

場 長竹承継分収林

参 114 名 (大人 9 名 子供・4 年生 109 名)

イ L 小沢⑨、佐藤⑤、富樫⑥、松山⑩、西出⑫、
藺田⑬、木村⑭、牧石⑭、角石⑮、飛田⑮

富士山がクッキリ望める快晴に恵まれ絶好の間伐日和となった。不動丸小学校の生徒を乗せたバスは定刻から少し遅れて到着しました。

愛川ふれあいの村の芝生広場に集合し、はじまりの会が開催され生徒と各班の担当インストラクターとの顔合わせを行いバスに分乗して現地へ向かう。

到着後、ヘルメット・のこぎりなど身支度を整え各班のインストラクターに先導され割り当てられた場所に出発する。森や水の話を変えながら間伐の準備をした。

生徒は交代しながらのこぎりで切り始める。小学生 4 年生では非力な生徒が多い印象でしたが、一部女子生徒の頑張りが目を引いた。

木が倒れる際は各班から歓声が上がり、枝打ち・玉切り・コースター作りに取り掛かり、各自苦勞して自分のコースターを切り出せました。

12 時過ぎから昼食タイムとなり、木や森、水について話をした。木の年輪がなぜ出来るのか知っている生徒が居ないことがチョット残念でした。

全員下山し道具を返却し、無事にバスに乗り愛川ふれあいの村に帰り芝生広場でお別れの式を行い終了した。

今回は、好天に恵まれて時期的に山ヒルの被害もなく気持ちの良い活動になりました。

(記 藺田 栄哉⑬)

◆ 県民参加の森林づくり (間伐)

日 令和元年 11 月 9 日 (土) 9:00～14:00、曇り

場 湯河原町鍛冶屋 (町有林間伐作業)

参 42 名

財 古舘様、大木様

看 佃様

スタッフ 小田原森林組合: 山村様

イ L 鈴木敏⑧、佐藤⑤、西村⑮、山口⑪、大道⑥、
松本⑪、小笠原⑩、久保⑧、鈴木淳⑭、齋藤④、
東昭⑫、藤代⑬、佐藤①、宮下⑫、真貝⑪、徳岡⑪

立冬の翌日、肌寒い曇り空の活動を開始しまし

た。主にヒノキが育つ湯河原町の所有林です。募集人員 100 名に対し、参加者 42 名と少ない人数で作業をすることになりました。湯河原駅で受付後、3 台のバスに分乗して 5 班編成で活動場所へ向かいしました。

当会の日本触媒の森事業部が (公財) かながわトラストみどり財団から

委託を受けて活動拠点としている『日本触媒・湯河原万葉の森』での間伐作業を行いました。

ヒノキは 36 年生で直径は 30 cm 以上あり、伐ると必ず枝がかりしてしまうので、ロープで引いたり、フェリングレバーを掛けて回したりして、各班はとても苦勞しましたが、合計 13 本を倒すことができました。倒した木は枝を落とし、長めに玉切りしました。これらの木は日本触媒が、遊具や「なめこ」の育成のための原木として活用いただけるそうです。昼食時は、参加者と一緒に活動の感想や要望、意見等を聞き、概ね好評でした。

(記 藤代 光洋 ⑬)



◆ キリンビール 間伐及び自然観察活動

日 令和元年 11 月 9 日 (土) 10 時～13 時 晴れ

場 やどりき水源林

参 社員及びその家族、計 63 名

県 高橋様

イ L 西出⑫、木村⑭、石井⑮、坂井⑮、内野⑨、
赤崎⑫、西岡⑭

やどりき水源林は、心配された台風や豪雨の被害も比較的少なく、秋の活動も青空が広がる絶好の日和となり、参加された皆様は楽しいひと時を過ごされました。

開会式の後、間伐 5 班、自然観察 3 班に分かれて活動しました。間伐 (40 人) は、スギとヒノキの混交林で、伐倒木は胸高直径 20 cm 前後、樹高 15 m 程です。何度も参加されている方もおられて、伐倒、枝払い、玉切りと作業は順調に進みました。

1、2 班はスギ 2 本、3 班はヒノキ 2 本、4、5 班はヒノキ各 1 本の間伐を行いました。皆さん、伐倒した時の達成感と、明るさを増した森を眺めて満足されたと思います。

自然観察は、お子さまを含めて 21 名の方が参加されました。やどりき水源林の自然に慣れ親しんで頂けるよう、秋の花を中心に水源の役割や森林整備の話をお伝えしながら、散策を行いました。水源林内は、台風の被害で通行が困難な場所もあることか

ら、今回はやどりき大橋から秦野峠林道方面へ足を延ばしました。林道では、秋の野菊やリンドウが咲いており、紅葉が始まった色彩豊かな落ち葉が、目にも鮮やかでした。散策後は、カスタネット作りやコースター作りを行って、思い出に残るお土産を作ることができました。

(記 西出 健一⑫、赤崎さほり⑫)



◆ 神奈川トヨタ自動車株式会社 マイクスアウトドアイイベント

GOOD OPEN AIRS 2019 秋 丸太切り・どんぐりトトロ

日 令和元年11月9日(土)10日(日)

両日とも晴れ 9:00~16:00

場 宮ヶ湖畔エリア 小中沢園地(清川村宮ヶ瀬)

参 9日 丸太切り100名、どんぐりトトロ30名

10日 丸太切り300名、どんぐりトトロ100名

スタッフ 佐藤様 他20名

イ 9日 L 福島⑪ 井出① 森本⑤ 草野⑧ 上田⑩

真部⑬ 藤井敏⑭

10日 L 福島⑪ 若林⑦ 草野⑧ 村井⑨ 吉田⑪

真貝⑪ 笠原⑭

樹々が美しく色づいてきた宮ヶ瀬湖畔エリア 小中沢園地において、プリウス森木会ブース内での、「丸太切り」、「どんぐりトトロ作り」のお手伝いを行いました。

両日ともお天気に恵まれ、ひんやりした空気の中、ワークショップ体験・アウトドアギアを目当てに大勢の参加者が詰めかけ盛況なイベントでした。初日は、ブースの位置が日蔭で寒いせいか参加者が少なかったが、二日目は、気温も緩み、「どんぐりトトロ作り」受付用のテーブルを通路側に設置した効果もあってか、10時オープン早々、お子様連れの参加者が順次増え始め、賑やかなブースになりました。

イベント自体が車を使ったアウトドア志向の家族連れを対象としており、鋸の使い方を知っているお子様もいるなど、多くの参加者に楽しんでいただきました。

やどりき水源林、森の案内人、トラスト会員募集等のリーフレットの配布を行ったほか、緑の募金の呼びかけによる多くの浄財のご寄付をいただきました。紙上をお借りしてお礼申し上げますとともに、トヨタ佐藤様から多くのお気遣いをいただいたことに感謝申し上げます。

両日とも、ケガやヒヤリハットも無く無事に終了することができました。(記 草野 弘⑧)

◆ 県民参加の森林づくり活動(間伐)

日 令和元年11月23日(土)8:30~12:00 雨

場 南足柄市塚原(塚原水源林)

参 23名(男19、女4)

財 豊丸様、大木様 看 佃様

スタッフ 高橋様(南足柄市森林組合)

イ L 石川⑫ 柏倉④ 稲辺⑤ 佐藤⑤ 山崎⑦ 鈴木⑧

辻村⑨ 水津⑨ 徳岡⑪ 渡辺⑫ 宇田川⑬ 北村⑬

斉藤⑬ 岩田⑭ 木村⑭ 竹内⑮ 研村井⑨ 小野寺⑮

安全パト 滝澤⑤、大見⑤

前日からの氷雨により実施が危ぶまれていたが、集合時には雨が上がり、遠くに青空も見られ、ぬか喜びしたのもつかの間、現場に着いた直後から本降りとなってしまった。オリエンテーションにて総括リーダーより、本日の目標は間伐作業ではなくけがをしないで無事に帰宅することである旨の注意喚起をせざるを得ないほど、決してコンディションが良いとは言えない状況であった。

そんな中、予定の名簿上の過半数の参加者が集まってくださり、班構成を大幅に変更し全体で5班6グループ体制となった。インストラクターの割合が多い分、目の行き届いた作業となり、初心者の方には丁寧にご指導を、経験者の方には自主的にテキパキと役割をこなしていただき、皆の努力により和やかな進行で短い時間ながらも適切な作業を行うことが出来たことがせめてもの救いであった。しかし雨は酷くなる一方なので一本伐るにとどめ、早めに引き上げバス内での昼食の運びとなった。結果、全体で16年生ヒノキ8本の間伐を行った。

幸い事故や怪我なく解散することが出来たものの、作業中、反省会とも、間伐という特に安全面での注意が必要な活動における雨天時の実施についての是非が問われ、この点は会の判断の範疇ではないものの、今後の対応の課題となった。

参加された方には今回に懲りず、晴天時の森林づくり活動を安全に楽しく味わっていただけることを願う。(記 宇田川 祐美恵⑬)



やどりき水源林ミニガイド

「安全の集い」開催

やどりき水源林で1/12に恒例の安全の集いが開催されました。今年はフレッシュな16期生11人も参加して盛会でした。その後、松田のわたやに会場を移して新年の集いを開催しました。詳細は、3月号に掲載します。

やどりき水源林ニュース

<http://www.forest-kanagawa.jp/4field.html#field02>

冬季は、休刊です。

「森の案内人」情報

案内人は、2月までお休みです。

●間合せ:

(公財)かながわトラストみどり財団

TEL : 045-412-2255

FAX : 045-412-2300

● ホームページ : <http://www.ktm.or.jp>

E-mail: midori@ktm.or.jp

イベント情報 & ご案内

詳細は、ホームページで確認ください。

http://lets-go-matsuda.com/?page_id=3254

詳細は、ホームページで確認ください。

http://lets-go-matsuda.com/?page_id=3254

松田山は、もう春です

第22回

また桜まつり

「関東の富士見百景」に選定

2020.

2/8(土)・3/8(日)

西平畑公園

神奈川県足柄上郡松田町松田惣領295-1

時間	午前9時～午後5時		ライトアップ※あしらの夜景 [ライトアップ] 見ごろから 午後5時～9時
桜まつり協力金	大人200円(16歳以上) 子ども100円以下(無料) 結果成立及び換領等の協力金		
公園駐車場※	1台1,000円 松田町内各施設 1台500円 ※各施設駐車場は、満車後、松田町観光観光協会の協賛で200円/台(当日11:00～14:00、満車)		

（一社）松田町観光協会 ☎0465-85-3130

松田町観光経済課 ☎0465-83-1228 松田山ハブガーデン ☎0465-85-1177

【主催】また桜まつり実行委員会／（一社）松田町観光協会／松田町

駐車場の数に限りがございます。できる限り公共交通機関をご利用いただきますよう、ご協力をお願いいたします。

※写真等はイメージです。

また桜まつり

松田町観光協会

編集後記

★今、心が痛むのはオーストラリア
火災で被害を受けた動物の映像で
す。甚大な災害でこの国の自然は変
わるのではと心配です。また温暖化の
被害を受けるのは弱い生き物だと思
い知らされました。(笠原)

★毎年恒例のお正月もあつと言う間に過ぎてしまいました。

「一年の計は元旦にあり。」とは言いますが・・・世の中の動向は不安と幸先が見えないことばかりです。いつの時代もユートピアは夢なのでしょう
か？ (吉田)

★今年は暖冬でだいこん、ハクサイなどの冬野菜の出荷が番狂わせになってるそうです！

私はあわてて庭のふきのとうの様子を見に行きました、顔を出してました(-) (阿藤)

★ 横浜東口近くのビル群を見にいった帰りに運河をみたらビーズ目の鳥が一羽泳いでいたので大好きなキンクロハジロかと思って写真をとりに行ったらスズガモでした。普通は群れで運河、河口等にいますが、逸れたのでしょうか。(松本)



スズガモ

横浜にて 松本

★1月、県民参加インストラクター1回、やどりき整備2回…降雨で中止になった回数です。今冬は暖かいだけではなく、雨が多いことを思い知らされました。梅花前線なんて言葉は、初めて聞きました。(竹内)

★これだけ雪国に雪が降らないと、スキー場だけでなく、喝水が気がかりです。今年の夏はどう見ても、冷夏ですね。谷戸の田んぼの実りは期待薄です。
(黒川)

年間通読のお申し込み 「森のなかま」年間通読を
ご希望の方は、郵便局備付けの郵便振替を利用して申し
込み下さい。

郵便振替口座 00230-0-2454 **かながわ森林インストラクターの会**
宛まで2000円をお振込み下さい。振替用紙には、必ず、住所、氏名を明記して下さい。振替用紙到着の翌月号から12回／1年間お届け致します。

編集人：黒川 敏史

広報部: 吉田郁夫 松本保笠原かずみ 加藤優美 阿藤壽孝
竹内明彦 柳澤千恵美

支援：伊藤恭造 大原正志 江頭淑子